

国際ロータリー第2500地区第6分區

# 帯広東ロータリークラブ会報



2018-2019年度

帯広東ロータリークラブ「**前進への挑戦**」

会 長 益子 裕之

幹 事 池田 誠

メディア委員長 加藤 雄樹

## 第1628回例会

平成30年10月2日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例 会：毎週火曜日 12:30～13:30

■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会 場：ホテル日航ノースランド帯広

y.Kato



### 2018-2019年度 国際ロータリーテーマ 【インスピレーションになろう】

2018-2019年度国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

### ガバナーテーマ 【行動するロータリー、つながるロータリー】

国際ロータリー第2500地区 ガバナー  
細川 吉博

### 月間テーマ 【経済と地域社会の発展月間】 【米 山 月 間】

- ◎起 立 大塚正昭 副SAA
- ◎友情の握手 大塚正昭 副SAA
- ◎点 鐘 益子裕之 会 長
- ◎開 会 宣 言 大塚正昭 副SAA
- ◎国 歌 斉 唱 大塚正昭 副SAA

#### ロータリーソング (四つのテスト)

- ◎ゲスト紹介 益子裕之 会 長
- 職業研修チーム(VTT)マレーシアの皆様  
チーム団長 オン・チャー・リー 様  
(第3300地区アンマンR C会長)
- オン・チュー・リー 様
- クアン・サン・キット 様
- ウォン・シン・イー 様
- オリビア・チャウ・ジャ・ウァン 様
- 同行者 VTT 小委員会委員 小沢昌博 様(帯 広 R C)
- 地区補助金小委員会委員 工藤一則 様(帯広北 R C)

#### ◎バナー交換



### 10月結婚記念日を迎える会員 大池梨華 親睦活動委員長

- 金尾浩幸 会員 昭和41年10月16日
- 上野敏郎 会員 昭和46年10月10日
- 古川直也 会員 昭和52年10月15日
- 安藤洋幸 会員 平成21年10月 4日

#### ◎バースデーソング

◎乾 杯

◎納会員へ9.6地震見舞贈呈



#### ◎会 食

### 会長挨拶

益子裕之 会長

皆さんこんにちは。先日の地区大会は、大変盛大な地区大会で皆様も大変ご苦労様でした。

細川ガバナーの思いが伝わってまいりまして、大きな一つの山を越えた感じがございますが、まさしくこれからが本年度の活動の中心になってくると思っております。

また地区大会の夜には大勢の皆さんで、楽しい帯広ナイト大変美味しいお酒を飲むことが出来ましたことを改めて感謝を申し上げます。

本日皆様のお手元にガバナー月信、細川ガバナーの多くのメッセージが詰まっております。地区大会の席上でも多くのお話をされておりましたが、例えば有名な奨学生の皆さんのお話をいろいろ聞いて、肌身で感じる事が出来たり大変良い大会でありました。

またその意義を深く理解をして、これからのロータリー活動に役立てていきたいと思っております。

最後に会員増強の話で恐縮でございますが、R Iの理事からもお話がありました、会員増強は必要な大切な



活動ではあるのですが、その質と職業という事を念頭に入れて皆様のクラブにとって、より良い環境をなるべく会員増強して頂きたいとの話がございました。

当クラブは、もう少し会員がほしいという現状ではございますが、理事のお話を聞いているとたしかに、むやみにやたらにという事ではなく皆さんがしっかりとした目でご判断頂ければと思います。

本日は多くのゲストの皆さんが、お見えになっておりますのでお話はこの程度にして、後程ゲストの皆さんにもご挨拶を頂戴したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 職業研修チーム(VTT)マレーシア

2500地区同行者 VTT 小委員会委員

小沢昌博 様(帯広 R C)

北海道の代表的な産業の研修をいたします。

本日は出席させて頂きありがとうございます。本日は1日よろしく願いいたします。



## 会務報告

池田 誠 幹事

◎帯広東 R C、10月9日(火)は休会と致します。

◎帯広東 R C、夜間移動例会開催のご案内

日時 平成30年10月30日(火)午後6時30分

場所 幕別パークホテル悠湯館

## プログラム

出席・プログラム委員会

### 【会員卓話】

板倉利男 会員

皆さんこんにちは。今日はマレーシアからおいで頂きまして、こういう日にぶつかって、私もお話するの緊張していますが、お話をさせて頂きたいと思います。

石川さんからご指名頂きましたけど、何を話したらいいんだいと言ったら、任せるわということでございます。

何を話したらいいのかなと思っておりましたが、この度京都大学の本庶教授がノーベル賞を受賞したということでもあります。何によってということは、今まで癌は外科手術または放射線治療あるいは抗がん剤による治療の3つでありましたが、4つ目の道を切り開いた、免疫という道で癌を予防できないかという研究をされたことを

評価されたということでもあります。

私の体験で癌を2回乗り越えたわけではありますが、この体験を話しようと思って話をさせて頂きます。

10年ほど前に、食道癌を患いまして手術を致しました。癌はストレスからも来るといわれております。このストレスは何だったのか、これは皆さんご存じの方は知っておられるのですが、稲田の方に今はきちんと開業しておりますが、帯広記念病院という建物があります。当時私の会社の売上の約半分3億5千万円程引っかけたわけです。

さてこれから苦勞するのです。結局会社は倒産すると、当然そういうことになりまして債務超過ということでしたら、銀行も手の平を返すようになる。社員をこんな親父についていって良いのか、こんなことにもなりますし、しかしそういった事の中で私1人ではどうなったか良くわからん。そこにいる西藤さんが同じように設備工事をやって引っかけたわけです。

引っかけた者同士、仲良く慰めあったり酒飲んだりねいろんな事しました。結局西藤さんの会社も私の会社も有難いことに、2年前にこの大きな負債を0にすることが出来たわけでございます。

そういうことで全てを感じるのは大変なことであります。皆さんも是非大きなストレスを感じる前に、解消方法を考えることが大事だろうと思います。

解消方法は何かという事になりますと、私は趣味ではなかろうかと思えます。1つの問題に集中するから、逃げれるそういう趣味があればよろしいかなと思うのであります。

私はその後、渓流釣りやまべ釣りを若い頃やったのですが、思い出してこれをするようにしました。その後書道教室に通って書道をやるようになります。今年は加藤武志さんの通っておられる、詩吟の塾に入門します。

そういうことで、出来るだけ自分の1週間の日程の中に、何か、かにか入れると、でも行けないときはしょうがないのですが。ストレスを発散する、それは趣味を持つことだと私は思いますので、皆さんも何か参考にして頂ければと思います。

昨年は胃癌をやりまして、これは札幌の病院で手術をしたのですが、内視鏡の手術でよろしかろう。初期だったとのことですが手術はしたのですがそこは癌専門の病院でした。

理事長がチョットまでとって、取った細胞を送って検査にかけてみたらどうだということで癌センター送りました。帰ってきましたら根っこが残っているということになりました。先生それではどうしたらいいのですかという2つの方法がある。

1つは貴方がそこそこの年だからいろんな症状が出て来たときに対処療法でその時その時に考えながらやっていくと。

もう1つは全摘することだということになりまして、私もどうするかといわれて家族と相談したらどうですかといわれたのですが、それは先生相談するまでもない1年2年3年もわからん、今なら体力・精神力共に充実しているので一気にバッサリやってくれということで4月

に全摘しました。

今も皆さんと食事するのですが、後遺症というか死ぬまで同じ形でいくのですが、元気そうに見えるけど食べる量が少ない、胃がないからねそういうことが1つのハンデといえばハンデなのですが。

そういう大きな病気をしながら、なぜ板倉さんはそんなに元気なのかと良く言われるのです。私は若いときに中村天風という先生の本に接して勉強したことがあるのです。この先生は皆さん興味があったら調べて見たらよるしいのですが、要するにこの先生は人間の図りきれないモノが何かある、それを中村天風は宇宙からパワーがありそこから来るのだと、人間にはそれぞれの人に潜在的な能力というのが80%以上、表に出ているのが20%弱残りは80%以上もあるのに、これを活用しない手はないじゃないか何を悩んでいるんだ何を苦しいといっているのだ、今持っている能力でしか使っていない貴方には使っていない能力がもっともっと大きな力があるのだと。その力を信じてもう1回見つめ直したらどうでしょうか。というのが中村天風の考え方なのです。

私はこれに感動しまして、人生、人は生まれてきて何のために生まれてきて何のために死ぬのだ、いろんな言葉がありますが、皆さんのそれぞれの人生が幸せな方もいるし不幸な方もいるしいろんな人がいます。しかしそれは誰のせいでもない、人生を決めているのは貴方自身、自分自身の人生は自分で決めているのです。人が決めるわけでも何でもない、ここに気付かなければなりません。

そこで自分を鍛錬して、今ある自分よりさらに価値ある人生を歩めば、価値ある人格を持って学べといってるわけです。同じようなことを、松下幸之助は宇宙根源の法則といて説明しておりますし、稲盛和夫さんは真善美といておりますし、それぞれいい方は違うのですが、いっていることは1つであろうと私は思っています。

皆さんもそれぞれ考えるに当たって、経営者である以上どんなことがあっても、絶対下を向いてはいけません、私は悔しかった悲しかった本当に辛かった、でも私は上を向いて下を向いて歩く事はなかった。なぜならば、親分の姿を子分は見ているのです、うちの親父はどうか下を向いてショボーとしていたら、ああこの会社危ないな、ところが元気よくおはようーといっていると、何か大変なんだろうけどこんなに元気なら何とかついていこうかともなるし、周りの人もそう思います、取引先から銀行からいろいろな、それでその辺については西藤さんとお酒を飲む機会がありまして、反省したり思い出したりしながら西藤さんも同じような事をいっておいましたが、やっぱり普段の生活がどうであったか日常がどうであったか、今日ここまでくるのにどうであったかというのが大きく、そこら辺がいい加減だったら良い結果が生まれるわけがないですね。

先程福岡さんと話をしておりました、福岡さんはベリアで大変なご苦労をされたのです。1回福岡さん前に出て話をして下さいと、戦争経験者の話を聞くチャンスはもうありませんよと、その時に福岡さんはどういったか、私はバカ正直だから賢い人はうまいこと要領よくや

るけど、私はそれができないそれができないばかりに、いわれたらいわれたことを辛く思わずやる。これで同期に入った新兵20何人の中でトップになったのです。残りの人達はそれぞれ前線に出されるわけです。福岡さんは部隊長付のお世話役ということでした。こんなことがあったから今日生き残ってきたのではないか、こういう話です。

正直者がバカを見るのではないのです。正直ものだけがその成功を勝ち取る、ということでは、ないかなと思います。

とにかくここは経営者の集まりなんですね。ですからいろいろもっともっと私は青年会議所を卒業して、入りましたので何時のまにやら76歳ということですから、かなりの年数いるわけですよ、かなりの年数いるどころか名簿見たら長谷川晃三さん福岡さんそして金尾さん次が私だと。もう社員番号4番もうそうってしまった。だから皆さんも是非経営者の集まりなのだから経営者としての誇りを持ちながら、福岡さんのような先輩、成功した先輩いろんな人がいました。泉さんやら西藤さんの話を聞いて参考にされたいのだろうと思うのです。

この間の地区大会の話などを聞いてもそうです。いっいたいなんなんだとロータリーは、先程益子会長が質か数か質かといっているでしょ、質も考えなきゃいかんそんなことはR1は関係ないですよ、ただただ数、要するに数を調整しなければ運営ができない。だから本来1番大事な職業奉仕という問題もどこかにやってしまったのです。

例会出席という問題もどっかにやってしまった。ハードルを低くして会員を増やすなんのために、本部の運営のためでしょ、そんなロータリーに何の誇りがあり魅力があるか、そういうことをこの間のガバナーの公式訪問の中で、ゆくゆくは職業奉仕というのもなくならないという論議もある。その論議をするのであればもう無くていいのです。平たくいえば畑違いの青年でもよるしい、そのような人達がどうやって職業奉仕するのですか何をもって奉仕するのですか。私はその辺に憤慨を感じるけど、お互いに残った人生を無駄にしないでやっていきたいと思う。

最後に中村天風の力の倉庫というのをトイレに書いて貼ってあるのです。この力の倉庫を読み上げています。力の倉庫、私は力だ力の結晶だ何者にも打ち勝つ力の結晶だ、だから何者にも負けられないのだ、病にも運命にもあらゆる全てのものに打ち勝つ力だ。そうだ強い強い力の結晶だ。

どうもありがとうございました。

◎閉会宣言

◎点 鐘

大塚正昭 副SAA

益子裕之 会長

### 次回プログラム予定

米山記念奨学委員会

10月9日(火)「休 会」

10月16日(火)「米山記念奨学生卓話」

ゲスト：潘志飛 様

平成30年9月28日(金)～9月29日(土)

R I 第2500地区大会(帯広)帯広市民文化ホールで開催された様子

